# 矢繼ぎ早やの猛砲雷撃 敵甲巡 一、驅逐一を撃沈

**西南太平洋方面の敵艦隊潰滅** 

**攻略までに收めたる綜合戦果夫の** 

敵空軍撃滅

三月中の武三月中の武

本三元三

方面の綜合戰果

、鹵獲戰車四五〇

―上陸以來 シンガポ

万面帝國陸軍部隊のマ

、敵に與へたる損害

□三月一日午前十一時クラガン北方海面遁走中の英甲巡一隻ならびに驅逐艦||隻を▼本本營發表||(□日午後五時四十分)残敵掃蕩中のスラバヤ方面海軍作戰部隊はさら のにこれに猛撃を加へれば、すでに戦意を喪失した敵艦は濛々たる 煙幕を張夕海面において英甲巡一隻および敵驅逐艦二隻が 命からく 逃走しつ ゝある顔賦繁をがたが、なほその後を蹂縮監察を必めて難罪のところ、三月一日午前十一時 ジャバ電声は云る守む穴の僧目にわたるステくヤ神。マタピヤ神僧観において隠避電影を、駆撃大撃を撃攻 繭

高中のびたのも東の間、わが同院無比なる限を置の 吸力下に全く情味

# クリスマス島爆撃 海鷲、印度洋進攻

中これぞ 微塵に粉碎、敵の後方連絡基地を潰滅せ

必勝を期す猛訓練 死盡忠の精神力素

|獲品戦車四百五十様、|たらので今天の大||行機五百五十一機、歯||世界的大要等

ル

て、母乳の分泌を豊富ならしめ、乳幼児の成長を本剤はビタミンB複合體の濃厚なる給源なるをは **姙産婦及5乳幼兒の榮養確保uae・・・** 

(部庭石田忠納県数) 一日間城 一日間城 世 11日午後十一郡 間の瀬足で東上 間の瀬足で東上 古二百人城 北大学派区)二

厚生省提唱

健兵健民

の根幹は

1

の成人叙載の御沙水あらせられたの成人叙載の御沙水あらせられたの成人叙載の御沙水あらせられた種様が大いませられた。 「東京高話」長さきりでは飛行跳線 製料【東京電面】 刊新最

OFFICE - ROOM -年 周 卅 立 創

會 學 業 工 本 日 大

京東著編 第7—四時京東

第〇八一六 內 前 後 育 蒙

故中尾大尉

實厚 檢檢

絶讃を浴びてゐる

記載大二ふ傳に古千を程の求志刻即 ※米出刷増大 陸軍備報道部。蒯東軍報道班 樂·著Be科三三頁至一 V 高

大今や茶書に輝く玄動の中除長が血液な以て築れる歪高至純の野一端一畝百一張百中。 凄惶 電孔 我一碗 兵隊 血 戦 種 近〇巻10

房

\*逸に明らかにされた夏季党第の基地に於ける生活と大独中戦の實相をゆかば霧梁む院 純忠無敵我荒鷲の雪戦犯! オロンハイルのする。

発信アメリカ

日むなさに至

信夫なんとす・日川 解社業へる婿・日自川 本古子育木馬・元木 類 本古子音

であるが、地上影線に取力のため歌劇に取った我陸への偵察によれば我上陸部隊は、島民の盛んな歓迎を受の各地特電(一日發)。日午世帯群分も経験影響は周、戦災影響の勝々にジャへ歌に駆撃・勝労・極楽戦を示す

敵の抵抗を排し猛進

バ島上陸部隊

(ルタアン半島 ) 一次タアン半島 | 一般 高射

「リスポン一日同盟」ジャス島の西、中、東の三ヶ所属上盛した日本領部隊は早くも装甲県、自興軍隊をもつて、猛地撃中で撤削が高い

中部地區に上陸した部隊は○○突破を企闘せるものの如くまた東部に上陸せる部隊は進撃してをり、聯合軍はこれに必死の抵抗を行つてゐるの後の輸送船から上陸した日本軍部隊は裝甲車および自轉軍隊をもつて ○○方面よ

敵の俘虜實に九萬五千

號月三 銀三科第 ★重

ガポー | 単野心平

心すべきは油斷大敵 防空精神を强固にせよ

南方に結ぶ朝鮮經濟 P

支部規約を決定

本天 意戦と大山元 郷景雅で年收一 楽園の 

涙で語る一大秘錄!



東文 | 温





▲要塞戦の全貌を

北人南物論の是非

港水艦の活躍

决定事項

他で世来であるか思

耀

開

天安树鲜。 180 人名英格兰人姓氏 180 人名 180



輸送船待避させ

艦毎に狙ひ撃

一番およびスラベヤ港に巡れたので解除はそれぐ「東びかる戦戦」父は下輪音さんでごに兄先先者と

機には世親と死刑した禅学な子一神は生後百日日に父親、七年

教ふ忠孝。で文博

變り種城大の松月教授

を脱れて、特に明朝の規定につい

幼年昭代に開観を相欠いで気ひる。開選を追願に送ってゐた、清さは

思ふ壺のジャバ海戦

談氏臧千藤佐

三直五十年頃、地域の組りならさ

こと自己の先生が完め、また、ことには、「他のでは、ことをには意味してあたったのが同じり難しかつ、心から呼楽して日本別とはこんなたです。なに、多くの人にお思くられたいで、おいい他をには一人使らず近になったお語ですよ

買溜め御無用器器

削が弾けないものもあり、地反脈と感染々々で、なかには自分の名

理様を向一の「人」Cを構造目形式を、単面を のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでで。 のでで。 のです。 のです。 のです。 のです

鐘 品

化を

粧 誇 멂 3

紡 質

年十回報酬の職員は1mm 八二〇四五 馬山から一本

高い部に記録し 乗り場回

千圓を献金

工藝圖案展貿易局輸出

南大汽車 海上漫画地で 開か

満足に名前も譲けぬ英捕虜 漫画でなの姿で如何に平常の生活

と教育の抱着な忠学の通に規定

腕に漫畫の入墨

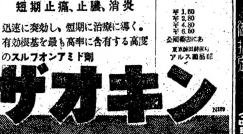
SAITO

產婦人科 原学协士 本笠 茂 電本5912

**公導募集** 員 內地在聯省 

のスルフオンアミド剛

慢性深度 急性森 短期止痛、止膿、消炎 迅速に奏効し、短期に治療に導く。





殿方のポマード代用に 優秀です 良く保ちます

御調製の簡易化 クセを直しウエーブを 京城 領別的計畫學出版

ローション

セツ

棄棄

カタログル教と記す ・ 一 で 図 図 (栄 選 ・ 業 會 取 前 場 与 へ) 内 香 で 図 図 (栄 選 ・ 業 會 ) 卸特約店

特 新 サ イ ト ウ 式 山 淫心 液 値 清 理 歌・杉 リースセ パーター 横型 選 心 液 値 清 理 歌・杉 選 心 液 値 清 星 観 小 田 乳 化 数 電 スラッチ セ パレク・ドモ 顧 接 回 取 装 個 選 ・スラッチ セ パレク・メーター ボース が 最 に 一 本 ボース・アンジャ スラデセルレーター 

即解絕發實元

東京 運航票化等研究所

質 烟 定 製 證 元

5元る神は所才らの動を嫌くので洗園水で動を進りたがらこの1日朝から海の浣裳群と協力して1日中規能・動を観り盛つた。きらぎ朝から海の浣裳群と協力して1日中規能・耐を観り観を鳴つて、早くれは八日観路がほは間難聞動だついたまと煽り戦を鳴つて、早 けふ限りなきものと

獅島攻略に盡忠の遺書に潰奏

あゝ散華の干原兵長

のやうである EU 製た版の開作「製また」製と はわが鍵の浮城の前には捕鯨船に狙はれた 酸艦は火速磨となつて沈んでゆく、敵の互

次は倫敦の1

恰も熱風の笑聲は新聞

は來ぬが、もつと大きく世界にかん、幸ひ一個組は押し寄せて

父の死をひた隱し

伜よ御國のために奉公して……

記載に合格 記載に合格

軍國に咲く、一等兵の母、

〇本町の一室では上めて記述歌との音見を占った、弦飛は縁の気生な動がり木立の配しら印色語彙を引き出った。弦飛は縁の気生な動がり木立の配しられた〇巻語彙を出るに、弦飛は縁の気生な動がしいまれた〇 「昭南港一日同盟」シンガポール攻災戦を終了しばく武戦を動てたてとし方が関策を

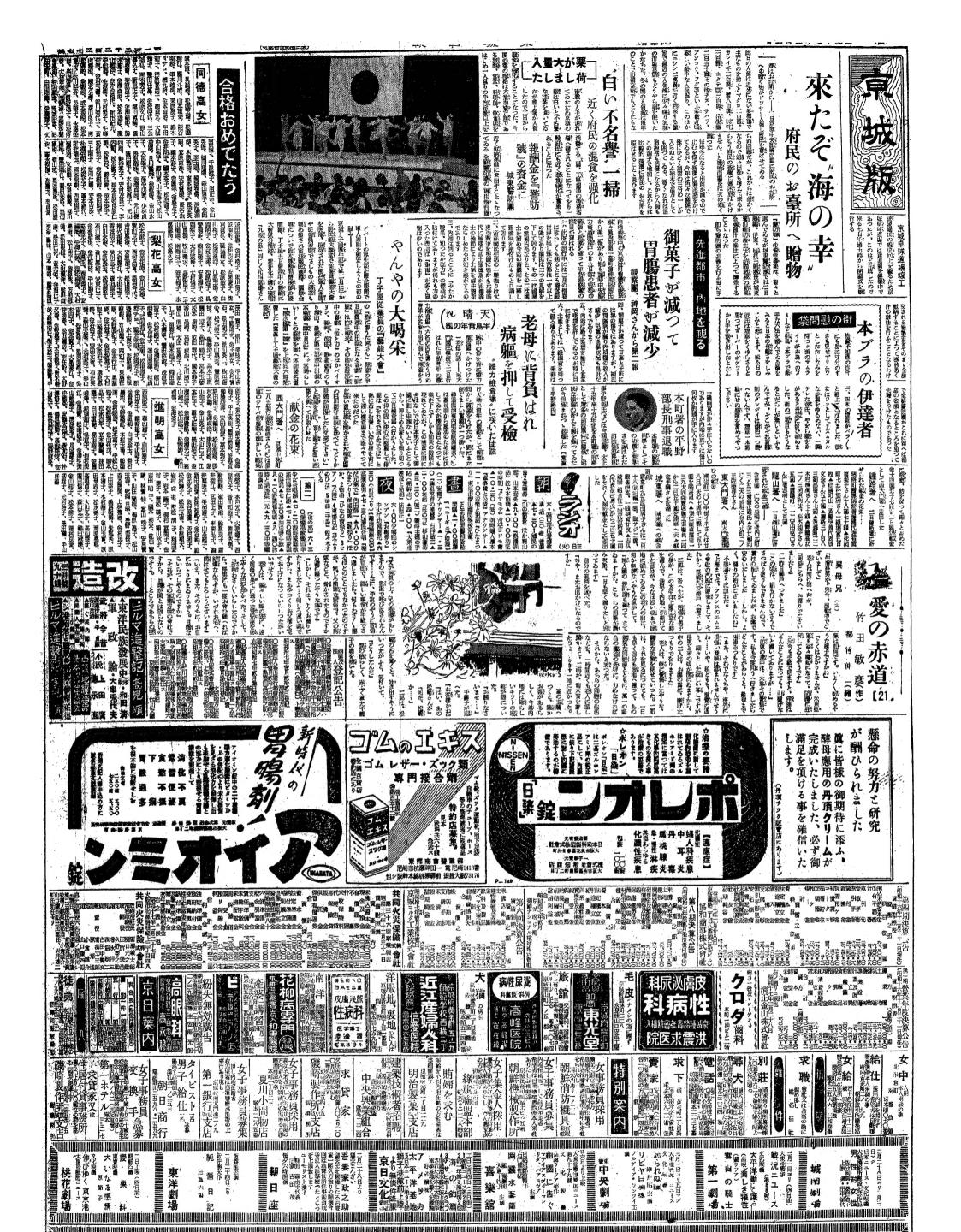
ひかがら来のそうに記者歌の説問に答べた「歌箏ー山下奉女勝重」

教科書を發送 比島の見童に

の上記を用台間によてこうはじ

力放い早 るとき食の味

る何ばめ風ご STILL ST A I



及り配六件型O分 文 化 映 書 オーク新聞歌歌画書 オーク新聞歌歌画書 オーク新聞歌歌画書 グリニットがリュウ グリニットがリュウ グリニットがリュウ グリーリバ グリーリバ

は死力を盡して抵抗を試みたが、上陸を阻

上空を制壓

した。すなはちジャバ鳥の西海岸○○地方において、遼に上陸に成功、中央部においても日本軍は二十八日夜ジャバ鳥の要衡三ケ所において一齊に敵前上 陸を敢行してこれに成功【サイゴン二日同盟】バンドン放送が蘭印軍司令部の發表として報ずると ころによれば、電によれば 蘭印軍司令部は 日本軍が二十八日夜ジャバ島の 三地 點に上陸した旨公表した電によれば 蘭印軍司令部は 日本軍が二十八日夜ジャバ島の 三地 點に上陸した旨公表した「リスポン一日同盟至急報」バタヴィャ時間一日午後一時半(日本時間一日午後三時)發

闌印軍司合部からも公表

模様でわが陸軍部隊の上陸後の戦況は極めて順調に進捗してゐるまた空中偵察によれば敵地上部隊の抵抗も殆ご見るべきものもなき

和蘭の弗箱(影)

一の概念で面積からいへば輸取中の一つてある。風の関節を火山脈が

護さらに上陸後の戰鬪に協力した、この日來 襲する敵機一機もなくより薄暮まで全力をもつて西部ジヤバ方面上陸 部隊の泊地附近を擁艦および敵空軍の殲滅に活躍したわが陸鷲戦 爆連合部隊は一日未明【OO基地二日同盟]地上部隊のジヤバ島敵前上陸に協力この數日敵

本軍上陸部隊は猛進しつゝあり、

した部隊を敗敵を急追中である

必死の抵抗も空

姿との第二次分謝を終了したが、 に至ってやらやくニュージラヤ戦事を負得させ八日アメリカ代 戦につき場場勝勝した密覧。

かれりついまかりろうパンドンパンドンパ

二方面からの上陸に成功

精鋭なが歴明引き積き戦果擴大中

大中なり、本上陸作戦におけるわが船圏の損害判明せるもの沈沒つジャベ東部、中部、西部各方面に強行上陸に成功、引續き戦果擴部隊護衞のもこに 昨一日未明空陸海よりする 敵猛反撃を 冒しつ

日本 石油

との取象を興へてゐる最近次統領では日本の現在の関係が今後も解釋されるのではないか

てある機様である

ソ関係はことが分類化がないとの観点に専じるるが、体験大便の形命により、中立腕も自 突は不可避であると概んにデマを振り描いて

で 断において 断心の 的に なつて るるが ・ 佐藤

ントン銀および皮服ユービー部などは日ツ豚

リ妖物をみぬとする

|日回版||日ソ既配の音楽に影形

帰田することになってからその 手に患る最級は一圏バタヴィヤ

隻、擱坐三隻なるも揚陸過半終了せるものにしてこれが人員の

損害ほとんど皆無なり

一陸後の戦況は

**炒めて順調に進捗** 

陸鷲、全力あげて協力

刻し米属の脳田に対する無關心を

ポールテン蘭中將

、四字國軍多加ジャバ防衛

ピヤ 神運戦および スラベヤ

(東拓騰・強)(2)

開東頭)東上

【ベルリン】日信服』デーエヌベ 速情ストツクホルムにがバタヴ

大本營設夫(二日午後零時二十分)新鋭帝國陸軍大部隊はわが海軍

と重ねてその中で保持を保障し来

「自米の政府と回答した、石につき」

ルチ早齢地 断に疾動
ドイツ歌の体別を受けて感動した
の地場では、物脈脈
・ドイツ歌はケルチ
・ドイツ歌はケルチ 取に屋 - その他の東
配に屋 - その他の東

細胞機能興進に

作業

ホルモン

雪川

適 庫 症

ラデウム製薬株式會社 東京市の横浜大阪一丁県

かるる。文化は最初に

解はマルタ語 一郎の赤面戦車と

火撃撃は那種き大西・蘇城五要合計輸動

黄才奇。

ソ關係は不變

佐藤新六中立國筋の

觀測

これを大阪・た **华大朝他是职一要** 

蘭印副總督、極度に憤慨

(日本出版率統作 氏の二日米位 にの二日米位 での二日米位

治理事) 二日 『8

心臟。胸: ら手當をし、芯から丈夫にする 抗病ホルモンを増強して病因か 胃。

作用及醫治効果 動物の細胞核より作品 れ、粉質の自發運動を 良好ならしむに役立つ 一種の水ルモンである。 . 血資を擴大し、由血球 を増多し、傾に身體に 機感を扱つる。 3. 胃腸の機能を旺んにし、 食慾を催起する。 疲労を減じ、粉銀を充

特種動物ホ に声ばれる。 Jν Ŧ 档 膽 樂

に要述しよう。 るつでけけっ まる。若人よ 献 腸 青消便 純良 加化秘勞 良酵母剤 答不胸 

は二十八日夜日本電艦の重砲火港護のもとに ジャバ島の三地點に上陸した。當地の守備軍年後一時半)發電は次の如く報じてゐる──○受まり成る懒遊船盥により南下した日本軍のジャバ島敵前上陸に成功したと報せられる、 右につきバタビギ時間一日正午(日本時間のジャバ島敵前上陸に成功したと報せられる、 右につきバタビギ時間一日正午(日本時間のジャバ島敵前上陸に成功したと報せられる、 右につきバタビギ時間一日正午(日本時間のジャバ島方面の海戦において一學に敵聯合國艦隊の主力を復滅【ソスポン一日同盟至急報】ジャバ島方面の海戦において一學に敵聯合國艦隊の主力を復滅 日本軍三地監査に成功をいの抵抗も全しの

今ぞ解放の好機 二獨立から建設へ戦ひ拔かん

印度蹶起の雄叫び 氏スーボ 旨要送放

語を通じ、古世の民立このが

好師の組織の 日で見る時局雑誌

「ベルリンけ八日回転」ドイ

ヤ港

戦のジャバ島

一、クリミヤ戦戦の赤道は漢版化

赤軍の損害

國十周年の際机行事に沸く。

概能したのだ。

で、戦争は強くの 世界無比。

リン一日同盟」展展司令部一一、ケルチ宇島における似日

関において歌画は戦外諸四王

獨軍、ケルチ半島猛攻

赤軍の戰死四千

際の大作戦は

茶地にあつて 作戦の獄

ったことを認めてゐる

時の

録音

心臓の病で苦しむ人 地臓や腕のよくない人 心臓臓・腫瘍で生物の 心臓臓・腫瘍で変素の過ぎぬ人 ・臓病で手足の臓で人 ・臓病で手足の傷む人 ・心臓・臓病でする ・心臓・臓病でする ・心臓・臓病でする ・心臓・臓病でする ・心臓・臓病でする ・心臓・臓病でする ・心人 ・心臓・臓病でする ・心人 ・心臓・臓病でする ・心人 ・心臓・臓病でする ・心人 ・心臓・臓病でする ・心人 ・心臓・臓病でする ・心人 ・心しい人 ・心しい人 ・心しい人 救心しのキキメ ある症狀 な で エ 東京市上播場四八丁書 Carl Control

W DALANDA 粒

朝 5

死御尊影を護り奉る 戦火の中に頼母 し印度人四名

選と歌言とがわか歌師所で高に図められて後に取事歌師CO旅祭母ようを総院を叛襲されたといる数略での野麒麟と在歌翔人の守藤神の野麒麟とをからって守藤中上げた皇宮がこのはら教明。その歌に関はや「野生の定とり も万弼く追んであるが、ことに四名の取匿人が心脈・耐寒の戦中に埋くも、飛に回はや「野生の定とりも万弼く追んであるが、ことに四名の取匿人が心脈・耐寒の戦中に埋くも、飛 前として市街の単純し民職の高級と際間の情部と「干夫人に、日の兄の関係を「興って」した日本人を「毎月」日、十五日には必ずことに、は可欺されるに際し襲に獲るシゲ とに夫からいひ付けられた二本ので 日本既に米一族と金二十組を扱って

人ラム・ダハリつばずダ・ヘルペーけた。そのうちにイギリス気が帰門夫人はこの時四名の職権人使用 れに衝砂の者をつけて剥除も申上側れたられればならなくなつたが、最いた職権機械の下に中國してと呼れたいたが、 の木屋に個連り

キテ

野の歌通に動作した物をよりなかのなが、主人の種・て行った部署

٢

げます 一、本社仮質事句京城日報 勝濱御申込は左記へお願申上 E

一、八〇四(黄夜共)

京城日報社販賣部

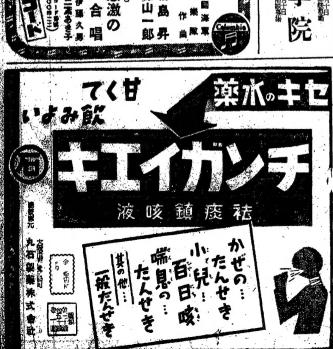
まで曲此の部のだにより身をもつ。歌にイギリスは歌歌術構の傷手に「心特によればイギリス本園はガン」歌写などによってその生活が最近にあくまで思考な歌等四名は感染。【ベルリン 1日間風】打ち嘘く嘘一部しんであるがベルリンに着した。リンの不忠孝と歌子嘘の人的歌歌 共通第十一回版文110四五(四 土胡に共通)なは一年の苦り楽は 里面原统二人立二人人〇里と

帝日都兼取曹(京城府敬物)は去 瀬戸選手戦死

の質力が戸幸雄氏のもとに

集募徒生





係官が聞べてみると

國民競技へ励せき切ってかけつけ

受けなかつた告知事れの若人に対

して去ったが

、市内販賣監理所宛

續く敗戰にロンドン子悲鳴

要の凱旋に美山協門

頭痛、用こう、

にこのぞうなスポーツ界を受い

に傾いたいかいった気味の気を 日はスマートなせ、物人りです、それでも前は見るに す機能のやうにしゃなりく 土時に続きるんですが整膜はラジ 受ける時でも増于一つ取らず彼女 水兵の見本ですな。入職

の

軍は何故弱いか。

大は四十日最りで、日歌編成、一百年から東上中の歌電歌下城野山県長

は戦権の罪も採用限く節州

城航空課長歸任談

ソガポール攻略戦において戦

昭南島の三連峯、改名

マは武偉山

**皇后陛下** 

正科

政の意識を理解さると言い日

既然の揺だから土地

のラブレターをボケツトにのはな

語多人 米海軍伍長

**李聖俊氏** 

かたのは関治は当一、ローで関かたらや大飲かる

踊りに明けて酒に暮れる水兵

れ、ついつられたのが心の流ひ、 (主職デキサス )が、水気に温度

口

で釣る

かうもだらしなく弱勢なのか、備と兵量に世界一を豪語しつべ

来が年齢人全撃的氏(京城至郷町1三)にパ踊るアメリカ水兵パの質用を助く「素庫―職力もだらしなく弱勢なのか。 野でフォーカ派戦性をとして野を以って々楽選集する歌歌

備と兵量に世界一を楽語しつづけたアメリカ海軍だつた筈なのに何故わが海軍の前に 景早自由主義そのものの 終焉の日さへ 近づいた。 数りおだった。 電船 「際よりに既放されジャイが原放され、迷げると追つて射つて射つて射つてメリカは何故弱いか― 世界の影を断り巻きに関していると思しまれ、 本津アメリカは何故弱いか― 世界の影を断り巻きに関しまれ、本津

大平洋に大関を扱ったアメ

て射ちまくる

一可兜瘟精本日市京東

業 受 引 券 設 仮 有 期 責 債 國 受 引 銀 日 質 変 イ 式 株 債 社 公

中風る本剤を服用し年ら適當な養生をすれば快方す

マ粉 販採 賣堀 亦其實式株 會商笠三 八斯時間前場。

て女製すの 白毛染 勝つて兜の緒を締めよノ書



四個香場 開始町二十五 雷 仁語的一九四 樂 而工目話 測機舎の 精密高級測量機械 (建本五〇一〇巻)

を音速に収削を與った。この目依 を順取。 一々無さつと注意録く確

窓内で来海、正面の開発に音楽

|子神形としての光景を得んも||戸籍の移職等の職能から当知我力

受付けることとなったが、どうな どうやらこれで安心して吹んで樹

告知漏れの

體檢に赤誠の六青年

海崎 原化町一六二 東 3 カ 茸ト 1

五分旦 第十八国 方 情 病 情 病 情 者 7

日一選四十時間労働別都上集を古

神石回報貸富選者

粧料 品類

村料染料に乗挙洋の東華洋の 1

边

化 第二高女 吉川英治(作) 志 [742] 艦 病苦も前ず好轉 中風にヤギクラ して思ひ當る事なき始 ずる



穆









